



マンマ・ミーアの配役

星陵祭に向けて台本の読み合わせが始まっている。主な登場人物と、25Rの豪華？女優・男優陣を紹介しよう。（人物紹介は劇団四季のホームページより）

*

○ソフィ ●●・●●

20歳になるドナの一人娘。母を手伝いながら、島を訪れたスカイという若者と婚約、結婚式を挙げようとしている。素直で明るい性格。父親不在の環境で育ったこともあり、人一倍幸せな家庭への願望が強い。結婚式に父を呼ぼうと画策したことが、ドラマの発端となる。

○ドナ ●●・●●

本作の主人公。シングルマザー。一人娘のソフィを育てながら、ギリシャのエーゲ海に浮かぶ小さな島で「サマー・ナイト・シティ・タヴェルナ」という島唯一のホテルを女手一つで切り盛りする。かつては、「ドナ&ザ・ダイナモス」という人気ロックバンドのリードヴォーカルとして多くの男性を虜にした。

○ターニャ ●●・●●

ドナの旧友で、「ドナ&ザ・ダイナモス」のメンバー。スタイル抜群でお金が大好き。色香を武器に、資産家と結婚しては離婚を繰り返すという奔放な女性だが、ドナとロージーとの女の友情には厚い一面も。

○ロージー ●●・●●

ターニャと同じく、「ドナ&ザ・ダイナモス」のメンバー。ターニャとは対照的に派手で女性的なアピールを好まず、「結婚なんてする気がしれない」と独身を貫く。だが、内面では、理想の男性を待ち続ける女性らしい

チャーミングさも併せ持つ。

○サム ●●・●●

建築士で、「サマー・ナイト・シティ・タヴェルナ」を建設した男性。かつて島を訪れドナと恋に落ちるが、帰国とともに二人の物語は終わりを告げた。現在は、二児の父。

○ビル ●●・●●

作家。旅の途中に立ち寄った島で、ドナと出会う。世界中を旅する渡り鳥のような生活のため、結婚という選択肢を意図的に避けている。

○ハリー ●●・●●

ロンドンのエリート銀行員で、パリに留学中にドナと知り合い恋に落ちる。文化的生活を好み、歌を愛する。既婚だが子どもはいない。

○スカイ ●●・●●・●●

証券取引所で働いていたビジネスマンだったが、都会での生活に疲れ、エーゲ海の小島へとやってきた青年。ソフィと恋仲になり、結婚することになる。ソフィを深く愛しており、若者らしく生真面目で潔癖な結婚観の持ち主。

○アリ ●●・●●

○リサ ●●・●●

○神父 ●●・●●

*

当然のことながら役者だけで劇ができあがるはずがない。舞台や装飾、衣装、音響など、全員のコラボレーションの上に、完成度の高い舞台ができあがるのだ。それぞれのパートで力を出し合い、協力しあって、思い出に残る素晴らしい舞台を創り上げよう。